

2014

KSTAC

放射線計測活動報告会

入場無料
2014年12月13日(土)
14:00 - 17:00
矢上キャンパス
14棟(創想館) 地下2階
マルチメディアルーム

「原発事故の山岳地域への 影響を科学的に理解する」

プログラム

特別講演 : 日本原子力研究開発機構 特任参与 鳥居 建男
「航空モニタリングによる東日本全域の
空間線量と放射性物質の沈着量調査(仮題)」

1, クラブ紹介・放射線計測の目的 : 機械工学科 2年 高橋 翔太
- なぜ山岳部が放射線計測を行うのか? -

2, 放射線の基礎 : 1年 黒澤 景一
- 放射線とは何か? -

3, 測定結果 : 1年 秋元 夏希
- 山岳地の放射線の実態 -

4, 考察と展望 : 化学科 2年 保科 静香
- 日吉でも検出される自然放射線 -

追加講演 : 機械工学科 2年 白鳥 敏
山の昆虫研究

主催: 慶應義塾大学理工学部体育會山岳部 (KSTAC)